

2022年2月3日
近江鉄道株式会社

サステナビリティアクションの一環として

非常災害用飲食品をフードバンクに寄贈しました

SDGs 17の目標「目標12: つくる責任つかう責任」に基づき、食品ロスを削減

近江鉄道株式会社（本社：滋賀県彦根市 代表取締役社長：飯田則昭）は、現在取り組んでいるサステナビリティアクションの一環として、災害時に使用するため備蓄している従業員用「非常災害用飲食品」の入れ替えに伴い、賞味期限到来前の飲食品をフードバンクひこねに寄贈いたしました。

寄贈した飲食品は、レスキューライス（水やお湯に浸すことでご飯になるお米）、フルーツキャンディー、飲料水各200点で、今後も入れ替えに伴い発生するものについて、フードバンクひこねをはじめ県内のフードバンクへの寄贈を進めていく予定です。

概要は以下のとおりです。

1. 寄贈日時 2022年1月22日（土）午前10時45分頃
2. 寄贈場所 彦根総合地方卸売市場内・フードバンクひこね 特設スペース
3. 寄贈商品 レスキューライス「ドライカレー」・「ピラフ」・「わかめご飯」
フルーツキャンディー
純天然アルカリ保存水（2リットル）
4. 寄贈個数 各200セット



フードバンクひこねへ寄贈



共同代表 森 恵生 様（写真一番右端）よりコメント

寄贈いただいた食材は、早速必要とされる方へ配布させていただきました。コロナ禍で食材を必要とされる方も増えており、このような形で応援いただけることを心より嬉しく思います。